

2026年9月9日

各位

会社名 トヨクモ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山本 裕次  
(コード番号：4058 東証グロース)

## トヨクモ『安否確認サービス2』の全国一斉訓練2026、 参加者が100万人を突破

— 9回目で参加者は13倍。「防災の日」に2,629社・109万名へ同時に安否確認 —

【シンプルだから、みんな使える。カンタートヨクモ】

誰でも簡単に使えるビジネス向けのクラウドサービスを提供するトヨクモ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：山本 裕次、以下トヨクモ）は、「防災の日」にあたる2026年9月1日、法人向け安否確認システム「安否確認サービス2」のご契約企業・団体を対象に、第9回となる全国一斉訓練を実施しました。

参加は2,629社・1,094,942名で、参加者数が100万名を超えたのは今回が初めてです。このうち827,078ユーザーが実際に安否確認へ回答し、96.1%が「実際の災害時も回答できそうだ」と回答しました。

※本リリースにおける「参加者」は、お申し込みいただいた企業・団体に登録され、訓練通知の送信対象となったユーザーを指します。



## 全国一斉訓練とは

全国一斉訓練は、「安否確認サービス2」をご契約いただいている企業・団体を対象に、毎年9月1日の「防災の日」に実施している訓練です。お申し込みいただいた企業に登録されたすべてのユーザーへ、一斉に安否確認の通知を送ります。

## 通知メール

## 設問フォーム

**【要回答】安否確認サービスの  
一斉訓練です**

☆

---

N 安否確認サービス To 自分 ✓

[REDACTED]さん

この一斉送信は安否確認サービスの一斉訓練として、送信されています。

通知に気づいたら、速やかに回答をお願い致します。

[https://www.google.com/search?q=questic...&ssokey=&gf\\_lmF=i7FBjUk&iWf9vri=aMkvB\\_0QAgl\\_f8bn4D\\_vCj8deLefOmDS3iNrWS\\_V2phoneZRMlc](#)

フィーチャーフォン(ガラケー)をご利用中の方は、下記URLにてアクセスをお願いします。

[http://www.google.com/search?hl=japane...&ssokey=&>ZRmlc](#)

設問

未回答

1: 回答しているのはどなたですか？

- ☒ 本人が回答
- ☐ 代理が回答

2: 回答している機器は何ですか？

- ☒ パソコン
- ☐ スマートフォン
- ☐ フィーチャーフォン(ガラケー)
- ☐ その他の機器

3: この通知は何で知りましたか？

- ☒ メール通知
- ☐ アプリ通知
- ☐ LINE通知
- ☐ 上司や同僚から聞いた
- ☐ 偶然見つけた

4: 回答方法はすぐに分かりましたか？

- ☒ すぐに分かった
- ☐ まあ、分かった
- ☐ 分かるまで少し時間がかかった
- ☐ 回答できているか分からない

5: 災害発生時も同様に回答できそうですか？

- ☒ 回答できそうだ
- ☐ 回答できるか不安だ

回答する

当日の送信時刻は、参加企業のご担当者にも事前にお伝えしていません。実際の災害と同じく、予告なく届いた通知に回答していただく形式としています。

災害時、システムへのアクセスは急増します。そうした状況でも安定して稼働することを毎年確かめるとともに、参加企業には訓練後に結果レポートをお渡しし、自社の回答率や回答時間を全体の平均と比較していただいています。

**参加企業に提供する訓練レポート**

全国一斉訓練の終了後、ご参加いただいた企業・団体に結果レポートをお送りしています。自社の回答率や回答時間を全社平均と比較でき、防災体制の現状を客観的に把握いただけます。

- 各数値と自社の比較
- 自社の回答率の時間推移と全体との比較
- 回答時間の中央値と回答率の全体との比較

※ 画像は当社（トヨコム株式会社）が受け取った2026年の結果レポートです

**安否確認サービス2一斉訓練（2026年実施）**

**はじめに**

本事業は安否確認サービス2と併行して実施された防災訓練です。このレポートでは、2026年8月1日に実施された一斉訓練の結果を掲載しています。全体的な傾向や傾向と、ご自身の回答率や回答時間、発生した問題点などを比較し、今後の防災体制の改善に役立てていただければ幸いです。

| 株式会社  | 全社平均    |
|-------|---------|
| 0.00% | 10.60%  |
| 0.00% | 13.70%  |
| 1.19% | 53.30%  |
| 7.09% | 140.70% |
| 92.6% | 81.2%   |

**概要**

- 一斉訓練レポート  
○ 各数値・傾向の把握  
○ 自社の回答率の時間推移と全体との比較  
○ 回答時間の中央値と全社平均の回答率の比較
- 一斉訓練結果表
- 発生した問題点

本レポートは、ご自身の回答率や回答時間、発生した問題点などを比較し、今後の防災体制の改善に役立てていただければ幸いです。

2018年に実施した第1回の参加規模は354社・83,806名でした。9回目となる今回は参加企業・団体数が約7.4倍、参加者数が約13.1倍となり、はじめて100万名を超えています。

# 訓練の結果

## 調査方法の概要

- 調査手法：全国一斉訓練2026における安否確認サービス2の回答結果を集計
  - 調査対象：2,629社・1,094,942名
  - 回答者数（本リリース内の割合の母数）：827,078人
  - 調査期間：2026年9月1日13時00分～2026年9月2日0時59分
- ※本リリースに記載した割合は、とくに記載のない限り上記の回答者数を母数としています。
- ※回答率・回答時間は、参加企業ごとの集計値を全社で平均した値です。

## 調査結果

参加企業ごとに集計した結果を全社で平均すると、半数が回答を終えるまでの時間は53.3分、回答率は81.2%でした。

| 回答までにかかった時間（全社平均）         | 2024年 | 2025年 | 2026年 |
|---------------------------|-------|-------|-------|
| もっとも多くの回答が集まったタイミング（最頻値）  | 12.8分 | 12.7分 | 10.6分 |
| 4人に1人が回答を終えるまで（25パーセンタイル） | 18.5分 | 19.1分 | 13.7分 |
| 半数が回答を終えるまで（中央値）          | 58.8分 | 56.9分 | 53.3分 |

回答率の全社平均値は81.2%（※）で、参加者数が大きく増えたなかでも前年(81.2%)と同じ水準を維持しました。（※一斉訓練の開始から12時間後時点の値）

参加各社には訓練後に結果レポートを提供しており、自社の回答率・回答時間を全社平均や前年の自社結果と比較できます。訓練を重ねることで、自社の課題を具体的に把握し、改善につなげていただけます。

## システムの稼働状況

訓練当日は、アクセスが集中した時間帯を含めてシステムが安定して稼働し、サーバー使用率にも十分な余裕がありました。

「安否確認サービス2」は毎分100万通以上のメールを送信できる設計で、データサーバーはメインをシンガポール、バックアップを日本（東京）とアメリカ（バージニア）に分散配置しています。日本国内で大規模災害が発生しても、その影響を直接受けない場所で稼働を継続できます。

また、サービス品質保証制度（SLA）を設定しており、これまで保証基準を下回ったことはありません。

# 96.1%が「実際の災害時も回答できそうだ」と回答

訓練後のアンケートでは、参加者の96.1%が「実際の災害時も回答できそうだ」と答えました。2023年以降、いずれの年も95%を超えています。

また、回答方法について「すぐに分かった」と答えた人は89.2%でした。

## 通知に気づいたきっかけ

訓練の通知にどのように気づいたかを尋ねたところ、メールが74.3%と最も多く、次いで専用アプリの通知が13.6%、LINE通知が5.8%でした。メール以外の通知経路で気づいた人は25.7%にのぼり、LINE通知は2023年の1.2%から約5倍に増えています。

回答に使われた端末は、スマートフォンが70.6%、パソコンが28.8%でした。

## 優秀な団体を「Good安否確認賞」で表彰

今年も、特に優秀な結果を収めた企業・団体を「Good安否確認賞」として表彰します。防災に意欲的に取り組んでいる企業・団体を表彰することで、BCP（事業継続計画）をはじめとする防災への意識を社会全体で高めていきたいと考えています。

| 項目     | 内容                                |
|--------|-----------------------------------|
| アワード名  | Good安否確認賞                         |
| 受賞対象   | 一斉訓練にご参加いただいた「安否確認サービス2」ご契約企業・団体様 |
| 受賞評価方法 | 回答率、回答スピードなどを総合的に評価               |
| 発表予定   | 2026年10月15日、当社プレスリリースで発表          |

## トヨクモ株式会社 代表取締役社長 山本 裕次のコメント

今年も多くの企業・団体の皆様にご参加いただき、9回目となる全国一斉訓練を実施することができました。心より御礼申し上げます。

災害が起きると、安否確認サービスには短い時間にアクセスが集中します。その状況で問題なく動くかどうかは、実際に同じ規模のアクセスを起こしてみなければ分かりません。全国一斉訓練は、そのために毎年行っています。お申し込みいただいた企業・団体に対して、送信の時刻をお伝えせずに実施しているのも、できるかぎり本番に近い状態で確かめるためです。

第1回の参加者は83,806名でした。9回目となる今年、100万名を超える規模で同様の検証ができました。毎年ご参加くださる企業・団体の皆様と、当日ご対応いただいた現場のご担当者の皆様のご協力があったことです。

トヨクモはこれからも、サービスの提供を通じて、皆様の事業継続と従業員の皆様の安全を支えてまいります。

## 「安否確認サービス2」について

「安否確認サービス2」は、5,000契約を突破（2026年7月時点）した法人向けの安否確認システムです。企業の存続および従業員の生活基盤となる災害後の早期事業復旧に重きを置き、安否の確認機能のみならず、その後の対策指示や情報共有を意識した掲示板やメッセージ機能などを備えています。

災害時に従業員を確保し迅速に事業を復旧させる  
**安否確認システム**

想定外に、たしかな安心  
**安否確認サービス2**

シンプルだから、みんな使える。  
カンタントヨクモ

連絡  
報告指示  
集計

安否確認サービスが解決する緊急連絡、初動対応の3つの課題



### 高い利用継続率

徹底した導入・活用サポートや大災害での安定稼働を実証する全国一斉訓練を実施。

導入企業・団体 契約数 5,000社以上（2026年7月時点）

|         |                |           |                     |             |
|---------|----------------|-----------|---------------------|-------------|
| LOTTE   | Yakult         | ほご360フーズ  | POLA ORBIS HOLDINGS | HQNMMA      |
| 毎日新聞社   | YTM            | 東京新報法律事務所 | 株式会社日本経済新聞社         | 株式会社日本経済新聞社 |
| SmartHR | cybozu         | sansan    | kaonavi             | ユビコー        |
| JR東日本   | Narita Airport | 多摩モノレール   | 株式会社リフレワークス         | leopalace21 |

- 製品HP：<https://www.anpikakunin.com/>
- 導入事例：<https://www.anpikakunin.com/case>
- お問い合わせ：<https://www.anpikakunin.com/contact>

## トヨクモ株式会社 会社概要

# シンプルだから、みんな使える。 カンターン トヨクモ



クラウドを使ったテクノロジーとアイデアで、誰でも簡単に使えるクラウドサービスを提供するSaaS企業です。

簡単な操作、シンプルな機能と分かりやすいユーザーインターフェースで、IT初心者の方にとっても安心して利用できるサービスを提供し、企業における情報化の第一歩を支援しています。

商号：トヨクモ株式会社 (Toyokumo, Inc.)

代表：山本 裕次

設立：2010年8月

URL：<https://www.toyokumo.co.jp>

上場証券取引所：東京証券取引所 グロース市場（コード番号 4058）

事業内容：クラウドサービスの開発/提供、新サービスの開発と運用

FormBridge <https://www.kintoneapp.com/form-bridge>

kViewer <https://www.kintoneapp.com/kviewer>

kMailer <https://www.kintoneapp.com/kmailer>

PrintCreator <https://www.kintoneapp.com/print-creator>

DataCollect <https://www.kintoneapp.com/data-collect>

kBackup <https://www.kintoneapp.com/kbackup>

トヨクモ スケジューラー <https://www.toyokumo.app/scheduler>

安否確認サービス2 <https://www.anpikakunin.com/>

NotePM <https://notepm.jp/>

▼ユーザー事例・製品情報・イベントなどトヨクモの最新情報をお届けしています。

トヨクモ公式Facebook：<https://www.facebook.com/toyokumo>

トヨクモkintone連携サービス公式Youtube：<https://www.youtube.com/@toyokumo-kintone>

トヨクモ公式X（旧Twitter）：<https://twitter.com/toyokumo>

※記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。

お問い合わせは[こちら](#)

【本件に関する報道関係各位からのお問合せ先】

トヨクモ株式会社 広報担当：宮崎さわ子

電話：050-3816-6666

メールアドレス：marketing@toyokumo.co.jp